

備えは大丈夫ですか？

もうすぐ梅雨入りです



梅雨入り間近となりました。

梅雨の間は、集中豪雨や長雨による地盤のゆるみなどで、予測できない災害が発生することがあります。いざというときに備えて、早めの準備をしておきましょう。

(次ページの避難予定場所をご確認ください) 【問い合わせ先】総務課 (☎ 82-1122)

災害に対するチェック項目

- 非常時に備え、保存食、貴重品、懐中電灯、携帯ラジオ、応急医薬品など非常持出品の準備をしておきましょう。
- 特にお年寄りや身体の不自由な人には地域で声をかけ早めに避難させましょう。
- ラジオ (FM ぎらら 80.4MHz)・テレビや、市ホームページなどの気象情報に十分注意しましょう。
- 万一のために、避難予定場所への経路を確認しておきましょう。
- 河川のはん濫、山崩れは瞬時に起こりますので、早めに避難しましょう。
- 家の周りの水路を掃除し、水の流れをよくしておきましょう。
- 灯油やガソリン、農薬などの危険物の安全管理を確認しましょう。
- 雨に弱い地盤では、災害が繰り返し起こる傾向があります。地域での過去の災害例を確認しておきましょう。
- 大雨が降り出したら、外出先からは早めに帰宅し、非常時に備えましょう。

【梅雨前に知っておきたい豆知識】 ～土砂災害には3つの種類があります～

土石流

山の斜面や谷底の石や土砂が、集中豪雨などによる雨や川の水とともに一気に下流へと押し流される災害です。破壊力が大きく、流れるスピードも速いので、住宅や田畑などを一瞬のうちに破壊してしまいます。



こんなときは注意

- ①山鳴りがする
- ②雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ③川が濁ったり、流木が流れ始める

崖崩れ

地中に染み込んだ水によって抵抗力が弱くなった斜面が、雨や地震などで突然崩れ落ちることをいいます。突然起こるので、民家近くで起こると、逃げ遅れて被害に遭う人が多くなります。



こんなときは注意

- ①崖に亀裂ができる
- ②崖から水が湧き出ている
- ③崖から小石が落ちてくる
- ④崖から木の根がブチブチと切れる音がある

地すべり

地下水などの影響により、比較的緩やかな斜面がゆっくりとずり落ちるように移動することをいいます。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路、鉄道などに大きな被害が出ます。



こんなときは注意

- ①地面にひび割れができる
- ②沢や井戸の水が濁る
- ③斜面から水が吹き出す
- ④家や壁に亀裂が入る